

平成 23 年度 河北潟グループ研究奨励助成応募要項

平成 23 年 7 月

NPO 法人河北潟湖沼研究所

助成の趣旨

河北潟は、かつては東西 4km、南北 8km の大きさの広大な汽水湖でした。豊富な生物群集、高い生物生産性を伴う生態系、優れた水質浄化能力をもつヨシ群落などが存在し、周辺地域にはその豊かな湖によって培われてきた潟漁や、交通路としての舟入川（張りめぐらされた水路）、湿田での水稻耕作など潟に寄り添った人々の暮らしがありました。

河北潟と周辺の環境は 1963 年に始まった国営河北潟干拓事業によって大きく変わり、潟面積の減少と淡水化による水質の悪化や汽水性の生物の消滅、湖岸の人工化による自然植生と水辺の野生生物の減少がもたらされ、引き換えに生まれた干拓地は十分には活用されていない状況が現在まで続いています。

河北潟と周辺地域の将来を展望し、自然と共存する持続的で豊かな地域を実現する上では、河北潟の自然再生と環境保全、干拓地の有効利用、地域資源の循環的・再生的利用のあり方を検討する必要があります。また、3 月に発生した福島第一原子力発電所事故は、エネルギー問題への洞察なくして地域の持続可能な社会を語ることの空疎さを示しています。

河北潟湖沼研究所は、河北潟に関する基礎的学術資料の蓄積を図り地域の持続的な社会のあり方を検討すると共に、地域の研究ネットワークを広げる取り組みの一つとして、専門的知識を持った研究者や学生の方々、持続的社会の実現を目指し活動을続けてこられた方々が共同で取り組む研究を奨励し、次の二つの研究課題について助成をおこないます。

補助の対象

助成の対象となる研究課題及び応募の資格は次のとおりです。

1. 研究課題

河北潟干拓地の農業・酪農問題を対象とする研究

河北潟の地域資源を活用した代替エネルギーに関する研究

2. 助成対象グループ

河北潟に関心のある研究者、住民等で組織されたグループ

助成金の額等

1. 助成金の額

1 件につき 10 万円を上限とします。

2. 募集件数

各課題につき 1 件

3. 助成期間

平成 23 年 8 月～24 年 7 月

4. 補助対象経費

課題の研究に関わるすべての経費

5. 応募の方法

次の書類を直接提出するか郵送してください。応募締切は平成 23 年 7 月 31 日（必着）です。

- ・ 申請書（別記様式－NPO 法人河北潟湖沼研究所 〒929-0342 石川県河北郡津幡町北中条ナ 9-9 tel.076-288-5803/fax.076-255-6941 まで請求してください。または、ホームページ <http://kahokugata.sakura.ne.jp/fram.html> よりダウンロードできます）

＜申請書の提出先＞

特定非営利活動法人河北潟湖沼研究所

〒929-0342 石川県河北郡津幡町北中条ナ 9-9

tel.076-288-5803/fax.076-255-6941

6. 審査

有識者数人と研究所理事で構成する助成審査会が審査し 8 月上旬に通知します。

7. 報告書

事業終了後速やかに以下の書類を提出いただきます。

- ・ 研究報告書
- ・ 会計報告書
- ・ 事業終了後 1 年以内に機関誌「河北潟総合研究」へ原稿投稿

8. その他

助成金の交付方法については助成決定後、担当者からご連絡いたします

問い合わせ NPO 法人河北潟湖沼研究所
〒929-0342 石川県河北郡津幡町北中条ナ 9-9
tel.076-288-5803/fax.076-255-6941

平成23年度 河北潟グループ研究奨励助成 申請書

1. 申請代表者			
フリガナ		年 齢	歳
氏 名			
フリガナ			
所 属			
連絡先	自宅・所属機関(どちらかに○)		
〒			
TEL		FAX	
E-mail			

研究テーマ	

研究の目的	

研究計画の概要	

申請金額	円 (上限は10万円)
------	-------------

申請金額の費目別内訳（金額単位：円）

費 目	金 額	内訳・算出根拠等
合 計	円	

申請書提出先 NPO法人河北潟湖沼研究所
〒929-0342 石川県河北郡津幡町北中条ナ9-9
tel. 076-288-5803/fax. 076-255-6941

「平成 23 年度河北潟グループ研究奨励助成」研究成果報告書

氏 名 印
所属機関
住 所 〒
T E L

記

2. 研究成果の概要 (A 4 用紙に自由形式で 1 枚以上を添付願います)
3. 助成金の使途

項目名	年月日	金額	内訳
合 計		円	